

平成26年1月10日

1. 出席議員

議長 杉原豊喜  
1番 朝長勇  
3番 上田雄一  
5番 山口良広  
7番 宮本栄八  
9番 石橋敏伸  
11番 上野淑子  
14番 末藤正幸  
17番 吉原武藤  
21番 牟田勝浩  
23番 黒岩幸生  
25番 平野邦夫

副議長 山崎鉄好  
2番 山口等  
4番 山口裕子  
6番 松尾陽輔  
8番 石丸定  
10番 古川盛義  
12番 吉川里己  
16番 小柳義和  
19番 山口昌宏  
22番 松尾初秋  
24番 谷口攝久  
26番 江原一雄

2. 欠席議員

15番 小池一哉

20番 川原千秋

3. 本会議に出席した事務局職員

事務局長 松本重男  
次長 友廣秀敏  
議事係長 川久保和幸  
議事係員 江上新治

#### 4. 地方自治法第121条により出席した者

市			長	樋	渡	啓	祐
教		育	長	浦	郷		究
政	策	部	長	松	尾	満	好
営	業	部	長	溝	上	正	勝
教	育	部	長	古	賀	雅	章
教	育	部	事	白	濱	貞	則
総	務	課	長	中	野	博	之
財	政	課	長	水	町	直	久
企	画	課	長	平	川		剛

---

**議 事 日 程 第 1 号**

1月10日（金）午前10時開議

日程第1	会期の決定
日程第2	会議録署名議員の指名
日程第3	市長の提案事項に関する説明
日程第4	第1号議案 平成25年度武雄市一般会計補正予算（第8回）（質疑・所管 常任委員会付託省略・討論・採決）
日程第5	報告第1号 専決処分の報告について（質疑）

---

**開 議 10 時**

**○議長（杉原豊喜君）**

皆さんおはようございます。ただいまより平成26年1月武雄市議会臨時会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

市長から提出されました第1号議案及び報告第1号を一括上程いたします。

**日程第1 会期の決定**

日程第1. 会期の決定を議題といたします。

本臨時会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。吉川議会運営委員長

**○議会運営委員長（吉川里己君）〔登壇〕**

皆さんおはようございます。平成26年1月武雄市議会臨時会の招集に基づきまして、議長から諮問がございましたので、本日、議会運営委員会を開催をいたしました。その結果につきまして御報告を申し上げます。

議長から諮問がありました事項は、第1. 会期及び会期日程について、第2. 付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、以上2項目でございます。

本臨時会におきまして審議されます議案等は、ただいま議長から上程になりました補正予算議案1件、及び報告1件の計2件であります。

以上の件につきまして協議いたしました結果、議案の審議順序は議案第1号、報告第1号の順に行い、議案第1号は所管の常任委員会付託を省略し、即決して差し支えない旨の意見の一致を見ました。

以上のことから、会期は本日10日の1日間が適当である旨、決定をいたしましたので、報告をいたします。

**○議長（杉原豊喜君）**

お諮りいたします。会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり

り、本日 10 日の 1 日間と決定いたしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、本臨時会の会期は本日 10 日の 1 日間と決定いたしました。

## 日程第 2 会議録署名議員の指名

日程第 2. 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第 81 条の規定により、21 番牟田議員、23 番黒岩議員、26 番江原議員の以上 3 名を指名いたします。

## 日程第 3 市長の提案事項に関する説明

日程第 3. 市長の提案事項に関する説明を求めます。樋渡市長

### ○樋渡市長〔登壇〕

おはようございます。平成 26 年 1 月武雄市議会臨時会の開会に当たり、提案いたしました議案について、その概要を御説明申し上げます。

今回提案しております議案は、平成 25 年度武雄市一般会計補正予算（第 8 回）でございます。

武雄市図書館の指定管理者であるカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社の取り計らいにより、佐賀県初の女子プロゴルフツアー、Tポイントレディースゴルフトーナメントが今年 3 月 21 日から 23 日までの 3 日間、若木ゴルフ倶楽部にて開催されることとなりました。

この大会は、これまで平成 22 年から平成 25 年にかけて、鹿児島県で開催されており、3 日間の開催期間中、1 万人を超える観客で大変人気を博した大会であります。

スポーツ大会の誘致を行っている本市としては、今回の開催により、宿泊者の増加につながることはもちろん、観光客の増加により、大きな経済効果が得られるものと期待をしております。

また、効果としても大会期間中のテレビ中継を初め、スポーツ誌、新聞雑誌などで開催地が多く取り上げられますので、武雄市を全国に PR する絶好のチャンスだと思っております。このチャンスを生かすため、フジテレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」のロケ誘致のときのように、市民総出で広くおもてなしをすることで、武雄を訪れる選手・観客等に喜んでいただけるよう、早急に受け入れ体制の充実を図っていきたいと考えております。

以上を踏まえ、今臨時会において、開催地としてのおもてなしに要する経費をお願いするものであります。

このほか、先決処分について御報告をいたしております。

詳細につきましては、御審議の際、補足させていただきたいと存じます。

よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

### ○議長（杉原豊喜君）

これより審議を開始いたします。

#### 日程第4 第1号議案

日程第4. 第1号議案 平成25年度武雄市一般会計補正予算（第8回）を議題といたします。

提出者からの補足説明を求めます。松尾政策部長

#### ○松尾政策部長〔登壇〕

おはようございます。第1号議案 平成25年度武雄市一般会計補正予算（第8回）について、補足説明を申し上げます。

今回の補正につきましては、先ほど市長のほうからありました、Tポイントレディースゴルフトーナメントに関する経費をお願いいたしております。

補正予算書の1ページを御覧いただきたいと思います。歳入歳出予算の総額に350万円を追加し、補正後の総額を242億6,495万3,000円とするものであります。補正の内容につきましては、予算説明書の（4）ページをお願いいたします。歳出では、観光費におきまして、報償費では市長賞としての賞品代。需用費では、横断幕等の作成経費。負担金補助及び交付金では、開催期間中のPRイベント等に要する経費について、武雄市観光協会への助成金を計上いたしております。

（3）ページの歳入では、その財源といたしまして、観光振興基金繰入金350万円を計上いたしております。

以上、簡単ではございますが、補足説明とさせていただきます。

よろしく御審議賜りますようお願いいたします。

#### ○議長（杉原豊喜君）

第1号議案に対する質疑を開始いたします。

平野議員より質疑の通告がありますので、発言を許可いたします。25番平野議員

#### ○25番（平野邦夫君）〔登壇〕

皆さん、おはようございます。今、市長ならびに松尾部長から説明がありましたけども、議案書をもって以降、ここは質疑ですから中身に入らないといけませんね。

我々としては、新聞での報道だとかいうことでしか、私自身はね、知ってませんでしたけど……

〔市長「一般質問で言いましたよ」〕

今、市長が言う、主催がCCC株式会社ということがわかりました。

このTポイントレディースゴルフトーナメントの大会要項というのが、一方にあるんですけども、さっき市長の説明では、1万人からのギャラリーで観光客が増えるだろうということ。

〔市長「そんなこと言ってませんよ」〕

あなたに言ってないんです。

〔市長「言ってませんよ。そんなこと言ってないじゃないですか」〕

名刺交換会で……

○議長（杉原豊喜君）

静かに。

○25番（平野邦夫君）〔続〕

名刺交換会で市長が言いましたので……

〔市長「言ってませんよ」〕

1万人からのギャラリーというのはね、それだけの規模の人たちが来るのかと。

〔市長「嘘ばかり言うなよ、ほんとに」〕

大会要項の中には……

○議長（杉原豊喜君）

静かに。

○25番（平野邦夫君）〔続〕

例えば、賞金総額だとか、そういうのは新聞に出てましたね。その範囲でしか認識しておりませんが、ここでいう報償費の市長賞100万。これは、市長の冠は出せませんが、市長賞で出すんでしょう。どういうことを考えられているのかと。選挙前ですから、特に神経使われるでしょうけども、冠はつけられない……

〔市長「使ってませんよ」〕

市長賞は出す。

需用費の消耗品費、これは何と言いますか、宣伝を武雄市がやる。

特に受け入れ体制、この負担金補助及び交付金については、補助金交付要綱、これに基づいて当然されるでしょうけども、この受け入れ体制がどういうものであるのかというのが1つ。

受け入れ体制がもう既に決まって、そして、補助金の交付申請があって、そして事業規模はこうでというものが当然、市に提出されていると思うんですよね、観光協会という名前が出ましたので。観光協会を主体とした受け入れ体制ができるのかなというのを、今の松尾部長の説明でイメージしているわけですけどね。

ですから、大会がどういう規模で、選手がどれだけ参加をして、ギャラリーにはどれだけの観光客が集中するのかと——という、それに対して、また今度は、じゃ駐車場の受け入れやとか、あるいはいろんな宿泊はどうするのかとか、いろんなことが、当然受け入れる側としてはね、観光協会が受け入れるわけですから、そこら辺はどういうふうな観光協会との話し合いをされているのかね。そこら辺は、350万という総額で出てるわけですから、特に19節のその負担金、観光協会という名前が出ましたからね、そこはそういうふう決められて、

事業——補助金交付申請書が出されているのか。(発言する者あり)そこら辺からまず聞きたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

溝上営業部長（発言する者あり）

○溝上営業部長〔登壇〕

おはようございます。まず最初の市長賞の基準、第8節の報償費について申し上げますと、まず優勝者への副賞ということで、主催者のほうからは武雄市長賞として、地元の特産品の提供をお願いをされております。

これは恒例としてですね、このゴルフトーナメント、どこでもやられておりますけれども。そういうことで、金額についても伺いましたけれども、それはもういくらでも結構ですということでした。

そういうことで、前回まで、平成22年から昨年までずっと開かれておりました鹿児島県の始良市について調査を行いまして、始良市のほうでは、受け入れ体制の総予算としては150万円。そのうちの半分程度の80万円を市長賞として、地元の米を提供をされたということでした。

副賞としてはそのほか、鹿児島県のときは県知事賞もございまして、そちらのほうにつきましては、大島紬を35万円分提供されております。そういうことで、副賞につきましては、金額等の基準はございませんけれども、これまでの経緯などを勘案いたしまして、武雄市長賞としては100万円分の特産品を提供したいというふうに考えております。

その次の11節の需用費についてですけれども、これにつきましては、先ほどありましたように、大会の周知、あるいは雰囲気盛り上げるため、そして選手、あるいは観客を歓迎するために市内各所に横断幕、あるいは庁舎等に懸垂幕、そしてのぼり旗等を設置したいと考えておりますので、その作成費として100万円をお願いしてるところです。

19節の負担金補助及び交付金につきましては、早急に実行委員会的な組織を立ち上げまして、市民を挙げて歓迎して、おもてなし事業を行うということで、今、事務局的には観光協会と観光課で携わっていきこうというふうになってますけれども、観光協会のほうからは、そのおもてなし事業につきまして、そういう事業内容について、出ております。

今現在、おもてなし事業としては今後も実行委員会的な組織で、いろんな意見を伺いながら進めていくことになってますけれども、今想定されておりますのが、まず大会期間中、大会の会場であります若木のゴルフ場に、武雄市のブースを設置いたしまして、その中で一番、今お客さんに人気があるっていうのが、やっぱり振る舞いだそうです。そういうことで、地元の若楠パークを中心に、3日間とも、1日できれば1,000食ぐらい、振る舞いを行いたいと思っています。

そしてまた、あとは旅館とか飲食店、そういう店舗等に、歓迎の意味で張っていただく歓

迎ステッカーも作成したいと考えています。

そして、あとは大会ギャラリーがいっぱい来られますので、武雄の魅力、あと観光情報をお知らせする情報チラシ、このゴルフ大会用のチラシをですね、作成したいと考えております。(発言する者あり)

〔市長「私語は慎んでください」〕

○議長（杉原豊喜君）

25 番平野議員

○25 番（平野邦夫君）〔登壇〕

そしたら、まだこの補助金交付要綱に書いてるような、補助事業の目的、内容、そして補助事業に対する経費。今、溝上部長が説明しましたからね、ああ、大体これぐらいの金がかかるんだなというのは、わかるんですけども。そうすると、まだ受け入れ体制としては、観光協会を主体として、そして実行委員会形式的なものを考えているということですね。私それが先じゃないかって気がするんですよ。そうした上で補助金の……

〔市長「違う、違う」〕

交付申請をする。それに対して市がそれを査定する。でなきゃ、公益性のある団体にしか補助金交付できませんからね。(発言する者あり)それは市が予算を組んで、これから準備していくんだというのでは、後先逆じゃないんですか。こういう補助金の交付の仕方ってあるんですかね。だから普通なら……(発言する者あり)この交付要綱でいくならですね、市が市以外の者に対し——ですからこれは、受け入れ団体である実行委員会っていう、仮称ね、実行委員会をつくると言われましたけども、そこに交付する補助金なんだと、そして助成金なんだと。主体がまだはっきりしない。主体がはっきりしないのに、予算だけが先行して 150 万の予算をつける。(発言する者あり)

そしてまた、需用費の消耗品費についても、実行委員会が横断幕をつくろうとか、あるいは、のぼり旗を立てようとか、そういうことになっていくわけでしょ。もちろん、その実行委員会に市は入るんですか。

私、今 2 つ言いましたように、受け入れ体制ができて、そして選手が何名ぐらい参加をして、宿泊はどうなっているのかと、宿泊の受け入れ体制どうなのかと……

〔市長「関係なか」〕

そしてギャラリーとして参加する観光客の受け入れは、じゃあどうするのかと。そういった全体を、具体的につかんだ上で、実行委員会として検討し、そしてそれを市に事業目的、あるいは事業内容と、そして、その総事業費がいくらかかると。総事業費がいくらかかって、その中で武雄市に対して 350 万円の補助及び助成金 150 万円ですか。150 万の——正式にはなんですか、これは。負担金及び補助金と。

〔市長「質問してください」〕



総事業費はいくらと考えるとですか。その中の……（発言する者あり）武雄市が負担すべきが150万、補助するのはね。

〔市長「全然、関係ない」〕

そこは、じゃあ2回目の質問として答弁いただきたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長（「古庄市長のとき竜王戦のとき同じんごとしたたい、先に600万出して。同じたい」と呼ぶ者あり）

○樋渡市長〔登壇〕

もう御質問そのものがナンセンスでね、もう、本当にちょっと聞くにたえない御質問なんです。これ主催者はあくまでも、CCC、カルチャ・コンビニエンス・クラブなんですね。これが、各いろんな協賛を伴って、若木ゴルフ倶楽部で大会を行うということなんです。しからば、私どもの実行委員会、これは市も入りますけれども、どういう体制かという、これを側面的に支援をしましょうということですので、これも別に、何人来て、何人プレイをしてっていうのは、全く関係ないとは言いませんけれども、それはおいおい、また近づくにつれて、きちんとその実行委員会等で御説明があるというふうに、私自身は承知をしております。

その一方で、これが初めての大会ではないということですので、これは鹿児島県の、今まで始良市で行われていたことを、十分に我々も参考して、先ほど部長から答弁いたしましたとおり、そういう過去の実績に基づいて、側面的支援として補助金を交付するものであります。

この補助金の中身も武雄市観光宣伝活動事業等補助金ということで、この目的が観光都市武雄を広く宣伝し、観光客の誘致を図ることを目的とするというようになっていますので、その増額ということに相なります。

ですので質問そのものが、順番が逆だとおっしゃいますけれども、全く意味をなさないと。そして、しかも私1万人を今想定しているなんか、一言も言ってないんですよ。これ先ほども申したとおり、これ、いろんなところで言ってますけれども、鹿児島県の始良市で開催された3日間が1万人を越える観光客だと申し上げていますので、もうあまり筋違いはしないように、ぜひとも今年はね、してほしいと思って——今年は3月までですけども、してほしいと思っております。（笑い声）

いずれにしても、武雄市商工観光振興事業費の補助金に増額するというので、その主催者たるCCC、そして何よりも事業、武雄市で行われますTポイントレディスゴルフトーナメントが、市の観光活性化に直接リンクをするということで、そのリンクをする部分に、我々は側面的に支援をするというのが、今回の補正のねらいであります。

○議長（杉原豊喜君）

25 番平野議員

○25 番（平野邦夫君）〔登壇〕

私の質問がナンセンスだ……

〔市長「ナンセンスです」〕

というふうに市長はね、理解されるのは、いろんな情報をね、知らせることしてないからですよ。

〔市長「そんなことないですよ。言っているじゃないですか、一般質問でも。嘘ばかり言うなよ、本当」〕

いいです。議長、とめてくださいよ。

○議長（杉原豊喜君）

静かに。

○25 番（平野邦夫君）〔続〕

武雄市の情報公開条例には、市が保有する情報というのはすべて知らせる責務があると。ましてや……

〔市長「知らせてるじゃないですか」〕

こういう議案を出すならね……

〔市長「全部知らせてるじゃないですか。ちゃんと出しているじゃないですか。嘘ばかり言うなよ、本当」〕

これに伴う資料というのは、当然つけるべきじゃないですか。

○議長（杉原豊喜君）

静かに。

○25 番（平野邦夫君）〔続〕

だから、このゴルフトーナメントの主権はCCCだということはわかったと、第1回目の質問に言ったじゃないですか。（発言する者あり）実行委員会の主体。あなた、主体と主権を間違っ

〔市長「違いますよ」〕

主権は……

〔市長「嘘ばかり言うなよ、本当」〕

CCCだと、株式会社のね。で、実行委員会の主体は、さっき言われたように観光協会だと。それで側面からそれを支援していくというのが、今市長が言われたとおりですよ。

これは、順序が逆じゃないかというのは、そういう受け入れ体制を今準備中だと。そうすると、実行委員会をつくったとして、どんだけの選手層だとか、いろんな主催者から調べて、（発言する者あり）そうしないとこれだけの事業があるんだと。これだけの事業に対して、武雄市に対して補助金の申請をする。それがこの補助金の、ここでいう補助金と交付規則の

中身じゃないですか。そこら辺はどうなっているんですかと聞いてるんですよ。(発言する者あり) これからだと言うなら、それはしょうがないですけども。

3回目ですので、そこら辺はきちんと事前に、勉強会も今回開かれませんでしたからね。細かく、本会議でしか聞けませんから、聞いてるわけですけども。そこは事業全体の事業規模、少なくともそれは、市は調べてるわけでしょ。そうした上で、観光協会を主体としてどういう団体が入っていくのかと。観光協会のほかに、実行委員会を構成する構成団体はどうかと。当然、そういったことを吟味した上で、補正等出してくるわけでしょ、予算を。決して的外れな質問をしているわけじゃないですよ。そこら辺を、答弁をいただきたいと思えます。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これについては、さきの一般質問で詳細を御説明したとおりでございます。それについて、私どもとしては、3月の開会期間中までに、今例えば、受け入れ体制等の準備については、今、目下進行中であります。

先ほど答弁いたしましたとおり、実行委員会で、しかるべきタイミングでCCCから説明があるというように聞いておりますので、その情報はちゃんと共有をしていきたいというふうに思っております。

これは、フジテレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」のロケ誘致の際にも、とった手法とほぼ同じであります。主催がフジテレビ、共同テレビということで、佐賀のがばいばあちゃん実行委員会をつくって、そこで、そのドラマに側面的に、こう応援をしていったということでもありますので、全くそのスキームに習っていて、そのスキームが成功したということについては、皆さんたち御存じのとおりだと思いますので、今回についても慎重かつ適性に、補助金の交付にあたっては、私どもとしても主体的に取り組んでまいりたいと、このように考えております。

○議長（杉原豊喜君）

ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑をとどめます。

お諮りいたします。本案は所管の常任委員会付託を省略いたしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、本案は所管の常任委員会付託を省略いたします。

本案に対する討論を求めます。討論ございませんか。

〔「賛成」「反対」と呼ぶ者あり〕

26 番江原議員（発言する者あり）

○26 番（江原一雄君）〔登壇〕

議案第 1 号 平成 25 年度武雄市一般会計補正予算（第 8 回）について、反対の討論を申し上げます。（「意味のある反対をせんといかん」と呼ぶ者あり）

商工費、観光費の 350 万円。内容は、Tポイントレディスゴルフトーナメント開催地としてのもてなしに要する経費。説明でもありましたが、市長賞、賞品代として 100 万円、消耗品 100 万円、Tポイントトーナメント受入体制助成金 150 万円であります。

先ほど補助金要綱に基づいて、質疑もされましたが、実態はすべて一般質問でも報告はされましたけれども、議会に対して、我々議員にもその資料さえ、質疑の中でも出てきません。

〔市長「なかもん」〕

紛れもなく市長の先行手法ではありませんか。

〔市長「資料なかもん、だって」〕

第 2 に……

〔市長「もう嘘ばかり言わんでください、本当に」〕

主催が大手の大企業の方であり、自前でやってもらうべきではありませんか。（笑い声）（発言する者あり）出すなら市長のポケットマネーとして、出すべきだというのが市民の感情ではありませんか。（「そがんと反対の理由になあもんや」と呼ぶ者あり）

〔市長「そい、だって、寄付行為やん、もう。そい、反対やなし寄付行為やんか。」〕

〔共産党はそがんとば指示すつとか、違法行為ば〕〕

以上を申し上げ、反対の討論を申し上げる次第であります。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

静かに、静かに。（発言する者あり）

〔市長「ポケットマネーって、あんた寄付行為たいね。」〕（発言する者あり）

〔市長「うん、違法行為ばそそのかすとですな、共産党は」〕

静かにお願いします。

〔市長「うらやましいね」〕（発言する者あり）

静かにお願いします。

〔市長「違法行為をそそのかす共産党」〕

〔26 番「だからやめるべきだと」〕

〔市長「嘘ばっかい言うな、出せて言うたやんか」〕

ほかに討論ございませんか。23 番黒岩議員（発言する者あり）

○23 番（黒岩幸生君）〔登壇〕

本案に賛成の立場から、討論を行いたいと思います。

ぜひとも、こういうものに対しては、これからを担うですね、若い議員さんたちが率先して賛成討論していただきたいと。こういう期待をまずしてるところでございます。と申しますのも、この次元だけとって、これだけ捉えて反対をするっちゅうやり方を、ここにいつもされます。国保のときも一緒です。しかしCCCは何をしたか、武雄市に。何をしてくれた、そこから考えてもいいんですね。

先ほど一刀両断、大手企業は自分です。(笑い声)しかし、きょうはあまり入り口に張ってなかったんですけど、ほとんどの皆さんは図書館を見に来られてるんですね。今や全国的に、武雄市の図書館といえば有名になっております。

これ、一般質問に出てきたことですが、吉川議員が図書館を、その指定管理者、民営化ではどうかって話も出たんですね。指定管理者制度をすることによって、4時間延長、年中無休。しかもなお、1億3,000万が武雄市に入ってくると。そういうことをやっていただいたCCCだっていう見方がなぜできないのか。

Tポイントのゴルフをされてるって言われますね、今度ね。鹿児島でもされた。鹿児島で、確か72万って話を先ほど聞いたように思いますけども、何も無いところでさえも、受け入れるときには72万も出す。武雄市は、先ほど言いましたように、毎年1億3,000万近いですね、そしてまた、これだけ有名にしてくれた。そういうCCCが、Tカード、なんていうんですか、なんとかゴルフですか、されるときに、私はふっと思うのはですね、浦島太郎、鶴の恩返し。(笑い声)それすら忘れてしまったような感じがするんだと、ですね。

行政っていうのは、そのときそのとき動くものでございます。もちろん、そのときそのときの判断は大切ですよ。しかし、前後をみて、流れを見て、武雄市をどのように浮揚させていくかと。これが、一番大事なことだと思うんですよ。私に言わせれば、たかが360万ですか。

○議長(杉原豊喜君)

350万。

○23番(黒岩幸生君)〔続〕

それだけでね、あの女子ゴルフの中で、武雄市が出るんですよ。少ないですよ。

〔市長「すみません」〕

皆さんゴルフ見たとき、見てんですか。例えば、クラウンのね、キーを渡してるとか、ジャケットをやるとか。

〔市長「すみません」〕

その姿だけ見ただけでもですね、どれだけの効果があるかって。これが今のところ3年間続くっていう話も聞いております。こういうのをですね、みずから、やはり呼び戻す。

例えば、工業団地問題もそうでしたね。お金をやっても、やっぱ企業を呼ぼうっちゅう考え方。あるいは、金を出すの反対ですからと言われますよ。こういうことは違って、先を

見て、木を見て森を見るじゃなくて、大きな森を見ていくと、そういう議員に育っていただきたい、そういう意味を持ちまして、賛成討論といたします。よろしく申し上げます。

**○議長（杉原豊喜君）**

討論ございませんか。

討論をとどめます。

これより第1号議案を採決いたします。本案は御異議がございませんので、起立により採決を行います。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

起立多数であります。よって、第1号議案は原案のとおり可決されました。

**日程第5 報告第1号**

日程第5. 報告第1号 専決処分の報告についてを議題といたします。

提出者からの補足説明を求めます。松尾政策部長

**○松尾政策部長〔登壇〕**

報告第1号 専決処分の報告について御説明を申し上げます。

議案書の1ページを御覧いただきたいと思っております。市長の専決処分事項の指定に関する条例の規定によりまして、職員が起こしました交通事故の損害賠償について、平成25年12月26日付で専決処分をいたしましたので、御報告申し上げます。

事故の概要でございますが、昨年11月14日、午後2時55分頃。公用車でグループホームきたがたに行く際、進行方向から来ていた車との離合が難しいと判断いたしまして、公用車をバックさせようとした際、後方を確認せずにバックしたため、後方に停車していた相手方の軽ワゴン車に接触し、右前方バンパー部分を破損させたものであります。

事故の過失割合は、当方職員が10割。損害賠償の額につきましては、12万716円でございます。なお、この賠償につきましては全額、全国市有物件災害共済から補てんされるものでございます。

職員が基本的な注意を怠り、事故を発生しましたことに対し、深くお詫び申し上げます。なお、関係職につきましては厳重に注意し、再発防止に努めるよう強く指導したところでございます。

以上報告とさせていただきます。

**○議長（杉原豊喜君）**

報告第1号に対する質疑を開始いたします。12番吉川議員

**○12番（吉川里己君）〔登壇〕**

車の事故ですけども、よくこうあるんですね。そういう状況の中でね、やはり10割の過失があるというふうな状況の中で、その事故を起こされた方に対してですよ、例えば、その

市役所の車の運転を、例えば3カ月間停止させるとか、そういうやはり厳しい処分をしないからね、周知できないと思うんですよね。

ぜひそういったところの歯どめをするべきだというふうに思いますけども、そういった対応はどうされるんですか。

○議長（杉原豊喜君）

松尾政策部長（発言する者あり）

○松尾政策部長〔登壇〕

議員さんおっしゃいますように、非常に遺憾なことだと思っております。御意見を踏まえまして、今後その辺、仕事に支障が出るとかそういう面もございますので、(発言する者あり)ただ、事故防止は大前提でございますので、踏まえまして考えていきたいというふうに思います。「事故したら仕事されんていう認識を持たせんば」と呼ぶ者あり)

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長（「仕事優先じゃなかろうが」と呼ぶ者あり）（発言する者あり）

○樋渡市長〔登壇〕

部長の答弁は撤回します。あくまでも仕事よりも人命の、特に市民の安全・安心が第一でありますので、先ほどの答弁は撤回した上で、私のほうから謝罪をいたしたいと思っております。

いずれにしても、いろんな事件、事故を起こしたときは、公務員、そして皆さん方というのは、二段扱いで大きくやっば出るんですよね。これは、社会が果たすべき役割についていうことに関して言うと、公務員はなおさら重いということでもありますので、これをもって厳しい処分にしてまいりたいと思っております。これについては、私どもが率先して行っていきたいと思っておりますので、ぜひこの件も、もう一回作成したときには、議員の皆さんたちと共有をぜひしてまいりたいと、このように考えております。

○議長（杉原豊喜君）

19番山口昌宏議員

○19番（山口昌宏君）〔登壇〕

私この件については、ずっともう何遍となく一般質問で出しておりましたですね、その都度のたびに、今後このようなことがないようにという話でその決着をされるんですよね。そして、そういう中でここに出てくるのはすべて、相手方に払うた分しか出てこんどですよ。それ自分がうったくつたと、その車の損害の、その修理した費用というのは、1回として出てきたことないんですね。「そうそう」と呼ぶ者あり)

市役所の車でうったくつとないば、市役所の車ぼこぼこしとかんばいかんもん、ごっとい。(笑い声)それ修繕しようとしてしょう。その金については、それ個人負担になるんですか、その辺はどがんたつとですか。「車両保険は掛けとうとかにゃ」「車両保険は掛けとろ」「免責のああとね」と呼ぶものあり)

○議長（杉原豊喜君）

松尾政策部長

○松尾政策部長〔登壇〕

自車の損害額につきましても、保険の対象になりますので、その分は保険で対応しているということでございます。

今回議案としてお願いしておりますのは、相手方への損害賠償という部分でございます、自車の部分については記載をしていないという状況でございます。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

19番山口昌宏議員

○19番（山口昌宏君）〔登壇〕

今回の議案は、その相手方に払うた分が対象として出しとけんがって、今言うたですよ。それ保険で出しとらんとですか。保険で出しとうわけでしょう。それ手前んとも保険で出しとないば、それも出すべきじゃなかとですか。今まで、一遍として出しとらんですよ。

そいとね、私が言うとは、事故やけんがあり得ることは絶対あり得るとやけん、そいば、なぜしたかって言いようとやなかと。

そいと今回はたまたま、止まっとったとにうったくったとやけんがね。ゼロの100っていう話ですけども、道が悪いときには相手に対する、その相手があって、その道を修繕しとらんやったからやったっていう部分で、結構多いんですよ。そんなときには、そのときもそういうふうで保険で対応しますと、今後このようなことがないように注意しますと言いながら、なかなか注意もできないという中で、やっぱり誰が過失でどういうふうな状態になったということは、やっぱりずっと言っとかんことには、なかなか、相手のためには出しました、自分たちの車が、ひよっとしたら修繕費ふとかったかもわからん。修繕費のふとかったちゅうことはですよ、その車両保険ばかかっとうときは、そのときは次の保険がずっとふとうなっていくでしようが。減ってはいかんとやけん、事故ば起こすぎ。その辺のどこをあなたたち言わんたん。

例えばですよ、平均的に掛けるのが1万円やったと。ずっと無事故でいかれたら、下のほうが5,000円になっとったって言うばってん、今度は事故を起こしてそいば修繕すつぎにや、また今度上がっていくですよ。そがんとこで保険料まで変わってくはずやもん。聞きようとやおりや。

〔市長「聞きようて」〕

これ、今の話ちょっと、おいが言うたとば、部長言うてん。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

松尾政策部長

○松尾政策部長〔登壇〕



前段のほうですけれども、報告事項として提出させていただいておりますのは、相手方に対する損害賠償について、市長が専決するという部分でございますので、自車の損害額については、提出はいたしていないということでございます。

それから事故を起こせば保険の額が上がるんじゃないかということでございますけれども、それは今ちょっとすみません、お話中に確認させていただいておりましたけれども、その保険額については変わらないということでございます。失礼しました。(発言する者あり)

**○議長（杉原豊喜君）**

樋渡市長

**○樋渡市長〔登壇〕**

これ、先ほどの吉川議員と山口昌宏議員のおっしゃることは、もっともなところでありますね。専決になった場合に、この報告だけって、いかに専決といえどもね、これ本当にいいのかどうかというのは、やっぱりちゃんと説明しないとだめだと思うんですよ。

ですので、この両名の御質問を踏まえて、今度その——まあ専決処分というのは、ほかも専決処分していますが、ほかの自治体も。それをえるつもりはありませんけれども、実際のその報告等についてはきちんと詳細について、御報告を申し上げたいと思います。これだとちょっと軽すぎるということを、私自身反省をしております。

その上で先ほど、もう一回答弁をいたしますけれども、これやっぱりね、私は名前も出すべきだと思います。公務でありますので、なおさら私は名前を出して、その対応については、きちんと私はすべきだと思っていますので、それを踏まえて一旦ちょっとボールをちょっとこっちのほうに預らせていただいて、次、こう起きないことをね、我々はそれを心していかなきゃいけないですけれども、やむを得ず起きた場合については、しっかり先ほどの両名の御質問を踏まえて改善をしていきたいと、このように考えております。

**○議長（杉原豊喜君）**

ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑をとどめます。

報告第1号は、法令に基づき報告されたものでありますので、この程度でとどめたいと思います。

以上で本臨時会の日程をすべて終了いたしました。

これをもちまして、平成26年1月武雄市議会臨時会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。

閉 会 10時38分

以上、会議の次第を記載し、その誤りなきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

武雄市議会 議長 杉原豊喜

〃 副議長 山崎鉄好

〃 議員 牟田勝浩

〃 議員 黒岩幸生

〃 議員 江原一雄

会議録調製者 松本重男